

盛岡城小噺

第19話

#盛岡城の遊園地

かつて、盛岡城内には遊園地がありました。盛岡出身で、第19代内閣総理大臣を務めた原敬が私財を投じて編集にあたった「南部史要」という盛岡藩の歴史書には、『大澤川原なる菜園の畑を潰して遊園地を造る』と記されています。

お城に遊園地!?と思うかもしれませんが、これはいわゆる「御茶園」のことで、現代の遊園地の姿とは異なり、馬場や馬見所、茶屋、泉水などを備えた庭園だったようです。泉水からの流れは曲水の趣をなしており、岩手県立図書館所蔵の資料には、その様子が絵図として残されています。藩主は、折に触れてこの遊園地を訪れ、そこに流れるゆるやかな時間を楽しんだものと思われます。

盛岡城内に遊園地を造営した第13代藩主南部利済（としただ）は、同時期に、本丸御殿の改築にも着手していました。大奥の西側に、石垣に沿う外観三階建の新御殿などを増築し、遊園地にも雨に濡れずに赴くことができるようになったといわれます。この普請により、本丸御殿は壮大で優美な様相となりますが、凶作等の影響で藩財政が逼迫する中であったことから、領民からは大きな批判を受けました。利済の様々な行いはやがて幕府の咎めを受けるところとなり、この新御殿も第15代藩主利剛（としひさ）の治世に取り壊されました。

この一件は、利済が悪政をしいた藩主として酷評を受ける出来事の一つとして、今に伝えられます。このように、盛岡城の長い歴史の中には今でいう「黒歴史」となりそうなエピソードもありますが、それも、これまでの盛岡城の歩みを物語る足跡の一つにほかなりません。

盛岡城復元調査推進室の取組の詳細は、市ホームページに掲載しています。盛岡城に由来があると伝わる資料や建物等に関する情報などありましたら、盛岡城復元調査推進室(019-613-7956)まで、情報提供をお願いします。



市HP QRコード

盛岡城を案内するしおり「盛岡城note」を市HPに掲載しました！しおりでは、これまでの「盛岡城日記雑書」でお届けしてきた盛岡城に関する情報などをまとめて楽しむことができます。盛岡城のガイドブックやテキストとして、ぜひご活用ください。

Information



盛岡城日記

雑書

Vol.21 2025年2月

盛岡城に関する取組では、市独自で調査などを進めるだけではなく、各専門家や他団体との連携も推進しているところです。今回はその中から、今年度大学と連携して行った取組について、その一部を紹介していきます。

地域課題解決プログラム

今年度、市から提案した盛岡城に関する研究課題の中から「地域との協働」に関するテーマと「古写真の撮影地点の検証」の2つが採択を受け、研究が進められています。3月の発表会等でこれまでの研究成果のフィードバックを受け、今後の取組に反映させていく予定です。

行っていくという取組です。

地域課題解決プログラムとは、岩手大学の学生が、自治体や地域社会が抱える課題を卒論や修論のテーマなどに設定し、指導教員の下で研究を



事前学習の様子



市民投票の様子



①では、広く盛岡城のマスコットキャラクターを募集し、230件の応募の中から市民投票などで「いしがきようだい」が最優秀賞に選ばれ、肴町商店街の協力のもと、お披露目会が開催されました。②では、盛岡城跡で挑戦する謎解きの冊子を市内各所に設置し、イベント開始初日の土曜日には、城跡での配布も行いました。盛岡城復元調査推進室としても、周知協力や各種アドバイスのほか、盛岡城に関する事前学習の講師や、実際の謎解き問題の作成などに携わりました。

と「②盛岡城謎解き事業」を実施しており、各事業を進めるにあたり、市でもサポートを行ってきました。

「さんもり」との連携



「さんもり」は、盛岡城跡公園をフィールドに昨年度から活動を行っている学生団体です。今年度は、より幅広い年齢層の市民が盛岡城跡公園や盛岡城への関心を高めるきっかけづくりなどを目指し「①盛岡城マスコットキャラクター募集事業」

